

ホスピス緩和ケア・シンポジウムのお知らせ

もしあなたやあなたのご家族が、がんになったら・・・

現在、日本人の2人に1人ががんにかかり、亡くなる方の3人に1人はがん、という時代になっています。早期発見・早期治療で治る病気でもありますが、もし自分が・・・ご家族が・・・と考える必要がある病気であるともいえます。

ホスピス・緩和ケアとは？

ホスピス・緩和ケアは、病気によっておきてくる痛みや辛さをやわらげ（＝緩和し）、その人らしく暮らしていけるように医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどがチームを組んでお手伝いさせていただく考え方です。

日本ホスピス緩和ケア協会四国支部とは？

NPO 法人日本ホスピス緩和ケア協会（理事長：山崎章郎医師）は、ホスピス・緩和ケア病棟を持っている、または計画中の病院や在宅療養支援診療所、理念に賛同する個人等が参加している団体です。地域別に8支部あるうちの四国支部は高知・徳島・愛媛・香川の4県で構成されています。

協会では毎年、世界ホスピスデーにあわせたホスピス緩和ケアウィーク（本年は10月4日～10日）に様々な行事を企画していますが、本年は県単位で行うことになりました。そこで、ホスピス緩和ケア病棟が一つ（三豊総合病院）しかない現状を考えるために、

シンポジウムを企画していますので多数の方にご参加いただけますように、

ご案内申し上げます

～裏面もご覧ください～

NPO法人日本ホスピス緩和ケア協会四国支部：ホスピス緩和ケアウィーク企画行事

『高松保健医療圏域のホスピス・緩和ケアを考える —医療資源の整備と活用—』シンポジウム

目的：「ホスピス・緩和ケアの医療資源をどう整備し、ネットワークするか」をテーマとし

て、行政、がん診療拠点病院、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション等のサービス提供側からシンポジストをお迎えして情報共有・現状把握をし、今後の課題をサービスの受け手とともに共通理解することを目的として行う。

シンポジスト

岡内須美子氏（高松市副市長）、吉澤潔氏（高松赤十字病院胸部・乳腺外科部長）、石崎恵美氏（香川県立中央病院緩和ケア認定看護師）、三宅敬二郎氏（在宅診療敬二郎クリニック院長）、郡順子氏（香川県看護協会訪問看護ステーション所長）

司会：白川和豊（三豊総合病院院長）

特別企画／世界ホスピス緩和ケアデーにちなんだ合唱

日時：2009年10月10日（土）

開場 午後1時 開演 午後1時30分

場所：香川県社会福祉総合センター1F コミュニティホール

（高松市番町1-10-35）

対象：市民・医療および福祉関係者・学生

参加費：500円

主催：NPO法人日本ホスピス緩和ケア協会四国支部

後援：香川県、高松市、香川県医師会、高松市医師会、香川県看護協会、香川県薬剤師会、香川県病院薬剤師会、香川県医療社会事業協会、香川県がん診療連携協議会、朝日新聞高松総局、四国新聞社、読売新聞高松総局、NHK高松放送局、KSB瀬戸内海放送、香川医療生活協同組合医療生活協同組合たかまつ

事務局：高松平和病院ホスピス緩和ケア病棟開設準備室 磯崎

〒760-8530 高松市栗林町1-4-1 TEL：087-833-8113 FAX：087-833-8759